

平成 27 年 9 月 10 日
相模原市発表資料

東京造形大学の大学院生による作品展示

「みなものみかた - 見えない表は見える裏 - 」

【内 容】

アートラボはしもとと基本協定を結ぶ東京造形大学の大学院生 8 名（うち 2 名は中国からの留学生）が、自分たちで企画・準備し、さらにテーマに即した作品を制作して広く市民に公開する展覧会です。

テーマは「みなも」。水面を通して見る水中と、水中から見る水面とは景色が違って見えるように、世の中には見ているはずなのに認識していないものや、見えないはずなのに存在が感じられるものがあります。その「水面（みなも）」のような感覚を、それぞれ専門的に学んでいる大学院生たちが絵画や彫刻、インスタレーション（空間展示）などで表現します。

また、それに併せて子どもたちが参加できる造形ワークショップや、沖縄をはじめとする様々な地域で活躍するアーティストを招いてのトークショーなども予定しています。

【会 期】 平成 27 年 9 月 18 日（金）～27 日（日） 午前 10 時～午後 5 時
* 18 日（金）のみ午後 6 時 30 分まで
* 9 月 23 日（水）は休館（毎週、水曜日は休館日）

【会 場】 アートラボはしもと（相模原市緑区大山町 1 43）

【主催等】 主催：東京造形大学
共催：アートラボはしもと（相模原市）
後援：アートラボはしもと事業推進協議会
（女子美術大学・桜美林大学・多摩美術大学・東京造形大学）

【関連イベント】

ギャラリーツアー

〔内 容〕 大学院生たちがそれぞれ作品の制作意図などを説明します。

〔日 時〕 9 月 18 日（金） 午後 5 時から 6 時 30 分 参加自由

公開制作

〔内 容〕 1 人の大学院生がモデルを相手に、立体作品を制作するまでの経過としてドローイング（下図）の公開制作をします。

〔日 時〕 9 月 18 日（金）・21 日（月）・22 日（火）・25 日（金）・27 日（日）
午後 2 時から 5 時 鑑賞自由

〔作 家〕 仁平広之（東京造形大学大学院）

ワークショップ「透かして発見！みんなでつくろう、はしもとひみつの森」

〔内 容〕 会場に森が描かれ、その森で暮らす生き物を想像して透明フィルムに描きます。
描かれた生き物たちは、会期中、作品のひとつとして展示されます。

〔日 時〕 9月19日(土)・20日(日)・22日(火) 午後1時から3時

〔対 象〕 未就学児(4歳以上)～小学生(低学年以下は保護者同伴)

〔定 員〕 各回15名(申込み順)

〔参加費〕 300円

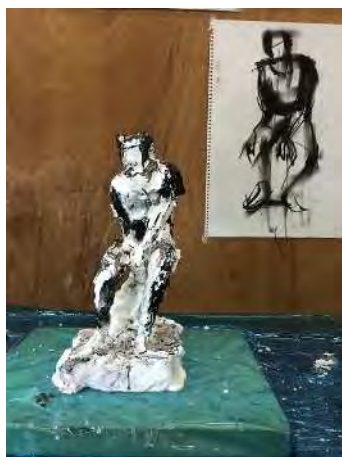
〔申込み〕 希望者はアトラボまで直接か電話で

*受付は9月1日(火)から18日(金)までに

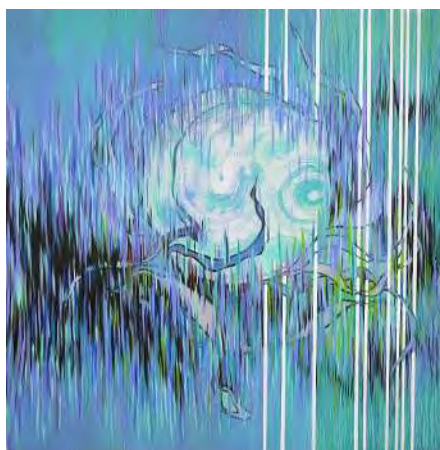
レクチャー+トークショー「母袋俊也(東京造形大学教授)×林僚児(アーティスト)」

〔内 容〕 沖縄などで様々なアート活動を行っているアーティストの林僚児が、巨大壁画
「沖縄コザ十字路琉球絵巻」プロジェクトの活動報告を交えながら、東京造形
大学の母袋俊也教授と地域におけるアートの公共性と展望について語ります。

〔日 時〕 9月27日(日) 午後2時から3時30分



仁平広之(参考作品)



劉 藝(参考作品)



展示作業風景



お問合せ先

アトラボはしもと

担当：石井・柳川

電話：042(703)4654